

メトホルミン塩酸塩錠250mgMT・500mgMT「ニプロ」 を服用されるお子さんと保護者の方へ

— 以下の内容はご家族や担任の先生などまわりの方にもお知らせください —

メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」は、血糖値を下げるおくすりです。まれに**乳酸アシドーシス**や**低血糖**を起こすことがありますので、以下の内容をよく読んで、注意しましょう。

錠250mgMT「ニプロ」



実物大



80% 縮小

錠500mgMT「ニプロ」



実物大

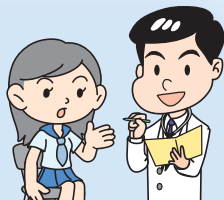


80% 縮小

錠剤からのおいがすることがありますが、品質・安全性・有効性に問題はありません。

おくすりの飲み方について

- お医者さんまたは薬剤師さんの言うとおり、決められた時間に決められた量だけ飲みましょう。
- 食事をとれなかったとき、服用をどうするかは、お医者さんまたは薬剤師さんに相談しましょう。
- 飲み忘れたときは、1回とばして次の時間に1回分を飲みましょう。2回分を一度に飲んではいけません。



乳酸アシドーシスについて

乳酸アシドーシスとは血液中の乳酸が異常に増えて血液が酸性になった状態で、治療が必要な副作用です。**乳酸アシドーシスは早期治療とともに予防も大切です。**

症状と対処法

吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、下痢（げり）、呼吸が苦しい、筋肉痛などの症状が起こることがあります。

これらの症状がひどいときまたは続くときは、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲むのをいったんやめ、すぐにお医者さんにみてもらうようにしてください。



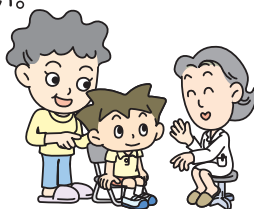
予防するには

- **脱水状態**のときは、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲まないでください。
 - ・ 熱があるとき、下痢、嘔吐があるとき、食欲がなく食べられないときには脱水を起こすことがありますので、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲むのをいったんやめて、お医者さんまたは薬剤師さんに相談しましょう。
 - ・ **脱水状態のときは乳酸アシドーシスが起きやすくなります。脱水が起きないように、適度に水分をとるように心がけましょう。**



保護者の方へ

- 上のような乳酸アシドーシスの症状がみられたり、嘔吐、呼吸困難、食欲減退等の症状に気づいたときには、**メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲むのをいったんやめ、すぐに医師にみてもらうようにしてください。**
- 脱水状態のときは乳酸アシドーシスが起きやすくなりますので、脱水が起きないように注意してください。発熱、下痢、嘔吐、食欲がなく食事がとれないときは脱水を起こすことがあります。このようなときは、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲むのをいったんやめて、医師または薬剤師に相談してください。
- 腎臓、肝臓、心臓や肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスを起こしたことがある人は医師に伝えてください。
- 次のときには、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
 - ・ 手術を受けるとき
 - ・ **ヨード造影剤**と呼ばれる薬を使う検査や治療（造影CT、尿路造影、血管造影など）を受けるとき
 - ・ 何か別の薬をもらうとき



低血糖について

低血糖とは血液中の糖分が少なくなりすぎた状態です。低血糖になっても軽い場合は糖分をとるとおさまります。日ごろから**砂糖などを必ず持ち歩き、低血糖と感じたら、すぐにその場でとることが必要です。**がまんしてはいけません。

■ 症状と対処法

- **血糖値が低くなりすぎると、おなかがすく、力のぬけた感じ、冷や汗、手足のふるえ、胸がドキドキする、めまい、ふらつき、頭が痛いなどの低血糖症状が起きることがあります。**

これらの症状が起こったら、すぐに砂糖（20g）やブドウ糖（10g）をとりましょう。どちらをとるのがよいかはお医者さんまたは薬剤師さんにききましょう。

- **高くて不安定なところにいるとき、自転車に乗っているときに、低血糖を起こすと事故につながる危険があります。特に注意してください。**
- 低血糖を起こしたときは、必ず早めにお医者さんに報告してください。



■ 予防するには

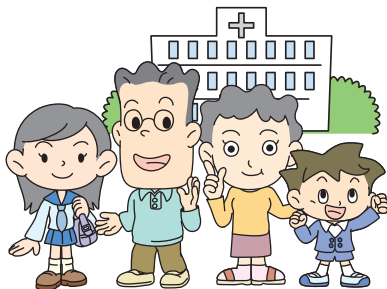
- 薬の量や飲み方はお医者さんまたは薬剤師さんの言うことを守り、また食事療法や運動療法もきちんと守ることが大切です。
- いつもより少ない食事量、いつもより遅い食事の時間、激しい運動、下痢などは低血糖を起こしやすいので注意してください。

■ 保護者の方へ

- **上のような低血糖の症状がみられたり、「ボーッとしている、うとうとしている、ろれつが回らない」などの様子に気づいたときには、すぐに砂糖やブドウ糖をとらせてください。**
- **α-グルコシダーゼ阻害剤**と呼ばれる薬（アカルボース（商品名：グルコバイなど）、ボグリボース（商品名：ベイスンなど）、ミグリトール（商品名：セイブル））を併用している場合には、砂糖は不適切です。これらの薬剤は砂糖の消化や吸収を遅らせますので、必ず**ブドウ糖**をとらせてください。
- 砂糖やブドウ糖をとれば普通は5分以内に普段の状態に戻りますが、よくならないときや「意識がなくなる、けいれんを起こす」などの場合にはすぐに医師にみてもらうようにしてください。

定期検査について

- メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲んでいるときは、定期的に腎機能や肝機能の検査が行われます。腎臓に病気のある人では検査の回数が多くなることがあります。



メモ

連絡先等